1. 起動

（1）MD レコーダーの準備　（MD レコーダー：MDG シリーズ)

1. パソコンのシリアルコネクタとMDレコーダーのPC SYNCHRO端子をPC接続ケーブル（付属品）で接続します。
2. MDレコーダーの電源を入れ、■･C（ストップ･キャンセル）ボタンを押します。

パソコン上でMD Disc Masterが起動（次項参照）すると接続が正常な場合、MDレコーダーの表示部に[PC CONNECT]と表示されます。
パソコンと接続が確立されている間はMDレコーダーの操作ボタンは機能しません。

（2）MD Disc Master の起動

1. パソコンの電源を立ち上げます。
2. [スタートボタン]をクリックして[スタート]メニューを開きます。
3. [プログラム]ー[MD Disc Master]をクリックします。
   または、デスクトップにある[MD Disc Master]アイコンをダブルクリックします。

4. MD Disc Masterが起動し、[MDレコーダーと接続しますか？]というメッセージ画面が表示されます。
   接続する場合は、PC接続ケーブルを接続した通信ポートを選択して[はい]ボタンをクリックします。
   接続しない場合は[いいえ]ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。

5. MDレコーダーにMDが入っている場合は[MDﾗｲﾌﾞﾗﾘに保存しますか？]というメッセージ画面が表示されます。
   (※MDライブラリについては28ページから説明しています。)
   保存する場合は[はい]ボタンをクリックします。
   保存しない場合は[いいえ]ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。

6. すでにMDﾗｲﾌﾞﾗﾘに登録されてあるディスクの場合は[MDﾗｲﾌﾞﾗﾘ登録]画面が表示されます。

   [はい]ボタンをクリックするとディスク情報がMDライブラリに登録されているデータに上書きされます。
   [新規ID]ボタンをクリックすると新たなID番号がMDに書き込まれMDライブラリに登録されて、メイン画面が表示されます。

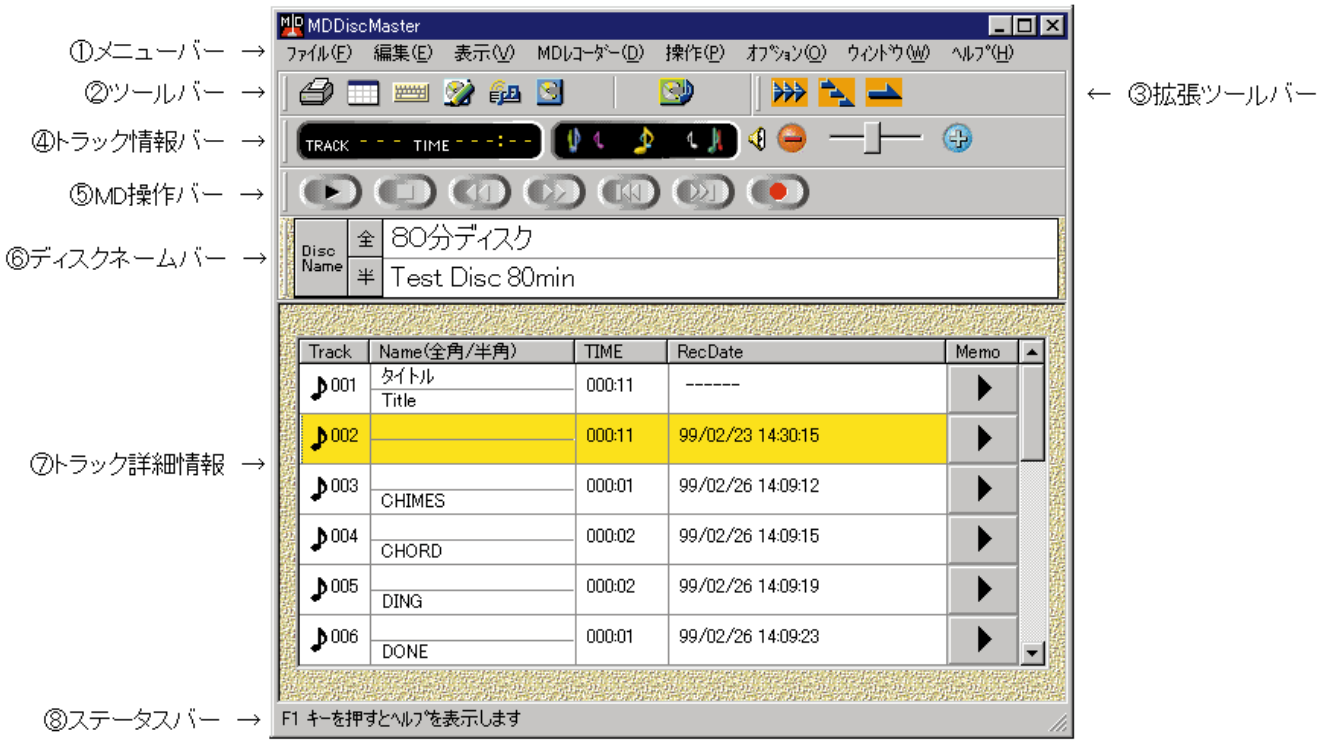
   [いいえ]ボタンをクリックするとMDﾗｲﾌﾞﾗﾘ登録を中止します。
   MDライブラリに保存しないむねの確認メッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックしてください。
   メイン画面が表示されます。

注意！ 上記操作を行なってもMDレコーダーとのPC接続がうまくいかないときは、パソコンの通信ポートが有効になっているかを確認してください。
通信ポートの確認方法は[スタート][設定][コントロールパネル][システム]で行なえます。詳しくはお客さまのパソコンのマニュアルをお読みください。

2. 画面表示

（1）MD Disc Masterのメイン画面

[ツールバー][拡張ツールバー][トラック情報バー][MD操作バー]では、マウスカーソルを各ボタンに合わせるとボタンの名称を表示します。
メニューやボタンは、操作状況によってグレー色の表示になり使用できなくなります。



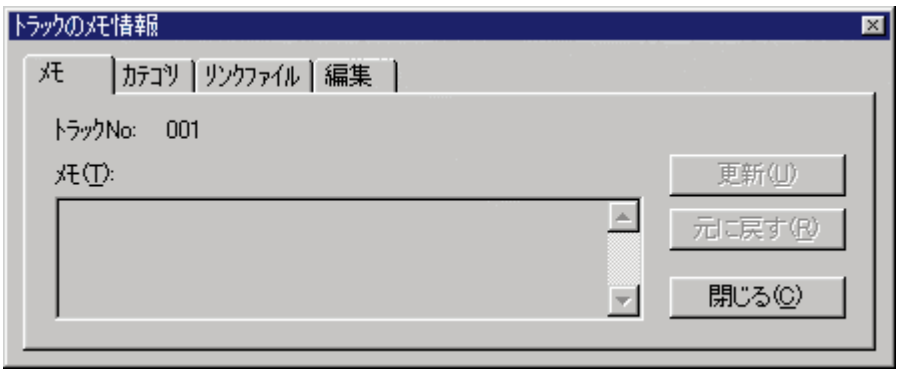
（2）画面表示

1．メイン画面の各パーツの表示／非表示の切り替え
メニューバーの[表示]を選択すると、プルダウンメニューを表示します。

[ツールバー]、[拡張ツールバー]、[トラック情報バー]、[MD操作バー]、[ディスクネームバー]、[ステータスバー]は、クリックするたびに表示／非表示が切り替わります。

2．ディスクネーム、トラックネームの表示タイプの切り替え
メニューバーの[表示]－[ネーム表示タイプ]を選択すると、サブメニューが表示され、全角／半角／全角・半角を選択します。
（参考：メイン画面のリスト表示部でマウスの右ボタンを押しても、表示タイプの切り替えポップアップメニューを表示します。）

3．トラックのメモ情報の表示
メモ情報の表示させたいトラックを選択し、メニューバーの[表示]－[トラックのメモ情報]を選択するか、トラック詳細情報の[Memo]ボタン ▶ をクリックしますと、[トラックのメモ情報]画面を表示します。



4．録音残時間の表示

メニューバーの[表示]－[録音残時間]を選択しますと、[録音残時間]画面を表示します。表示内容は、録音または編集によって更新します。

表示する録音残時間（分：秒で表示）はステレオで録音した場合の時間です。

※録音残時間の表示は目安時間を表示しています。

5．ディスク情報の表示

メニューバーの[表示]－[ディスク情報]を選択します。　[ディスク情報]画面が表示されます。

※録音残時間の表示は目安時間を表示しています。

※「録音済み時間」は、トータル録音時間を分：秒で表示します

「録音残時間」は、ステレオで録音する場合の目安の録音残時間を分：秒で表示します。

「TOC情報」には、TOCが一杯になったとき、「TOC FULL」が表示されます。

6．ミニ操作パネルの表示

メニューバーの[ウィンドウ]－[ミニ操作パネル]を選択するか、[ツールバー]の をクリックします。

ミニ操作パネルが表示されます。

ミニ操作パネル表示にすると、タスクバーにトレイアイコンを表示します。

ミニ操作パネルは、トラック情報とディスクネームを表示する[トラックバー]と、MDを再生するために必要最小限の操作ボタンを盛り込んだ[MD操作バー]で構成しています。それぞれ右端の矢印ボタンをクリックすると、そのバーは非表示します（このボタンの操作から両方のバーを同時に非表示に設定することはできません）。

また、ミニ操作パネルはタスクバーへドラッグすると、タスクバーの上に表示し、デスクトップの上端へドラッグすると、上端に表示します。

※ミニ操作パネルへの切り替えは以下のとき可能です。

1. ノンリピートのとき
2. 早聞きオフのとき

ミニ操作パネルへ切り替えるとホットキー操作が可能になります。

（ホットキーに関しては26ページ～27ページに説明しています。）

メイン画面上の MD 操作バーとの違い

基本的にメイン画面のMD操作バーと同じですが、メイン画面のMD操作バーで右端にある[録音]ボタンが、ミニ操作パネルのMD操作バーでは[ポイント再生]ボタンになっています。　再生時にポイント再生ができます。
※ポイント再生：指定した部分の前後をくり返し再生すること。

ミニ操作パネルのショートカットメニュー

ミニ操作パネルの上でマウスを右クリックするかトレイアイコンを右クリックすると、ショートカットメニューが開きます。
ミニ操作パネルの表示形態を選択したりメイン画面に戻るには、このメニューから操作します。

・常に手前に表示 ..... 常にすべての画面の最前面に表示します。

・自動的に隠す ..... これはタスクバーがこの設定モードにあると指定しても無効です。画面の下に隠し、マウスが画面の下端にくると表示します。

・横に並べて表示 ..... フローティング表示させているときにこの項目をチェックすると、トラックバーとMD操作バーは横に並べて表示します。

・縦に積んで表示 ..... トラックバーとMD操作バーを、上下に積んで表示します。フローティング表示しているときのみ有効です。

・トラックバー ..... トラックバーの表示／非表示を切り替えます。

・MD操作バー ..... MD操作バーの表示／非表示を切り替えます。

・ミニ操作パネルを隠す ..... ミニ操作パネルを隠します。　再度表示するにはタスクバーのトレイアイコンを右ボタンでクリックし、メニューから[ミニ操作パネルを表示]を選択します。

・メインに戻る ..... ミニ操作パネル表示から、メイン画面表示に切り替えます。